

2 平成20年度の施策

第8回幹事会(平成20年11月25日開催)において、平成20年度については、各WGでの検討結果を踏まえ、一定の効果が見込まれる本格的に実施すべき施策を抽出し、可能なものは、年度末までの期間にわたり実施していくことについて了承を得た。

これを踏まえ、歩いて楽しいまちの実現に向けて、

「自動車流入抑制」、**自転車対策**、**歩いて楽しい賑わいの創出**」

に関する具体的な施策を実施しているところである。

今後、この結果を踏まえ、施策ごとの展開を図る。

2 平成20年度の施策

自動車流入抑制に関する施策

【現状の課題】

歴史的都心地区内の通過交通による、歩行者の安全性低下、環境の悪化
限られた道路空間の中での、生活交通と通過交通の住み分けが必要
歩道拡幅による交通容量の低下が懸念



【施策】

道路案内標識の変更による通過交通の迂回誘導
「人が主役のまちなか道路」の取組

自転車対策に関する施策

【現状の課題】

路上放置自転車により、歴史的都心地区の魅力の低下
限られた空間の中での、まちと自転車との共存が不可欠



【施策】

駐輪場の設置
新京極公園
御池通(南側歩道上 3箇所)
マナー向上に向けた取組
駐輪場・走行規制マップの作成・配布

歩いて楽しい賑わいの創出に関する施策

【現状の課題】

歴史的都心地区内へのアクセス方法やまちの魅力に関する情報が不足
歩いて楽しい魅力ある空間の創出が必要



【施策】

賑わいの創出と公共交通の利用促進を目的とした、情報誌「^{まち}京な^が歩^ぐ」の発行

2 平成20年度の施策

2.1 自動車流入抑制に関する施策

(1) 道路案内標識の変更による通過交通の迂回誘導

施策の内容

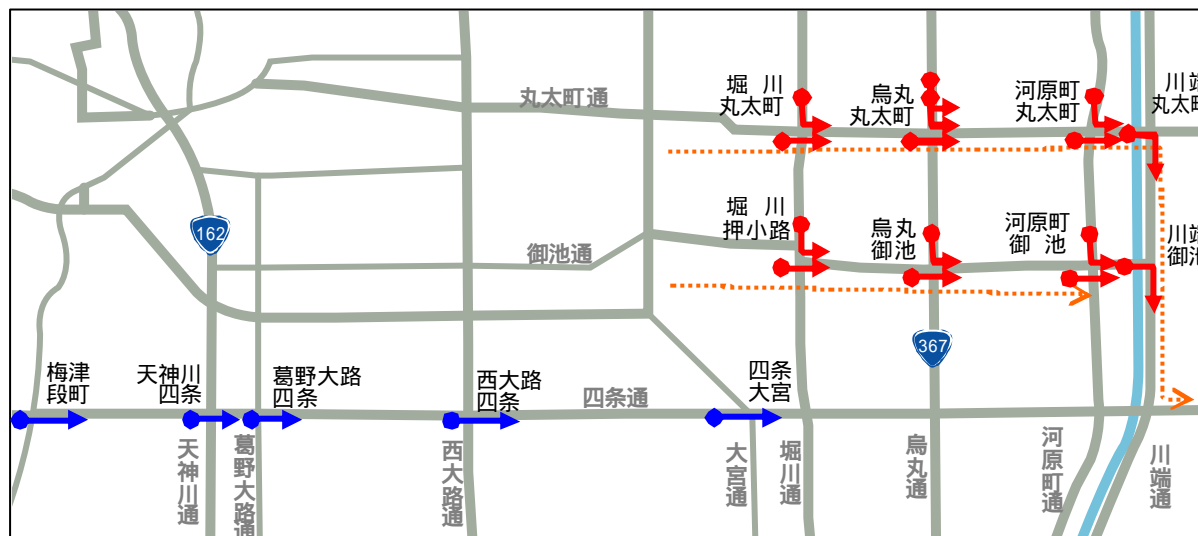
- 慢性的に自動車で混雑する四条通における通過交通抑制を実施した。
- 道路案内標識を利用した迂回誘導策 (市北西部からの祇園方面へのアクセス経路を丸太町通や御池通に分散)を実施した。



2 平成20年度の施策

実施期間・箇所

平成21年3月8日(日)～ 来年度も継続実施



四条通における道路案内標識から「祇園」方面の標記をなくす交差点(5箇所)
 梅津段町交差点, 天神川四条交差点, 葛野大路四条交差点, 西大路四条交差点, 四条大宮交差点

道路案内標識に「祇園」方面を加える交差点(8箇所)
 堀川丸太町交差点, 烏丸丸太町交差点, 河原町丸太町交差点, 川端丸太町交差点,
 堀川押小路交差点, 烏丸御池交差点, 河原町御池交差点, 川端御池交差点

今後の展開

平成21年度以降も継続実施する。



道路案内標識に関する報道
 (H21.3.7読売新聞)

2 平成20年度の施策

(2) 人が主役のまちなか道路

施策の内容

- 歩行者と公共交通優先の「歩いて楽しいまち」の実現には、以下の仕組みづくりが必要である。
 - 細街路等を生活道路として利用する地域住民や事業者が自らの「家の前の道」のあり方を議論し、地域で合意形成を図る
 - これを道路管理者、交通管理者と協力しながら、通過交通の道路ではない、「人が主役のまちなか道路」として実現していく
- 歴史的都心地区及び隣接する周辺部において、モデル地区を選定し、実施検証を行い、課題の抽出とその解消策を検討し、仕組みの具体化を図る。

実施状況

中京・下京の両区役所と連携して、三条細街路WGにおいて、モデル地区の選定を行っている。

今後の展開

引き続き、三条細街路WGにおいて、仕組みの具体化に向けた検討を行う。

2 平成20年度の施策

2.2 自転車対策に関する施策

(1) まちかど駐輪場の設置

施策の内容

○駐輪需要の高い歴史的都心地区において、自転車利用者のニーズに合った受け皿の確保に向け、実験的に駐輪場を設置した。

実施期間・箇所

新京極公園

平成20年12月22日(月)～ 3月8日(日)

御池通(南側歩道上3箇所)への駐輪場設置

平成20年12月26日(金)～ 3月31日(火)



まちかど駐輪場
Ⓛ新京極, Ⓧ御池通)

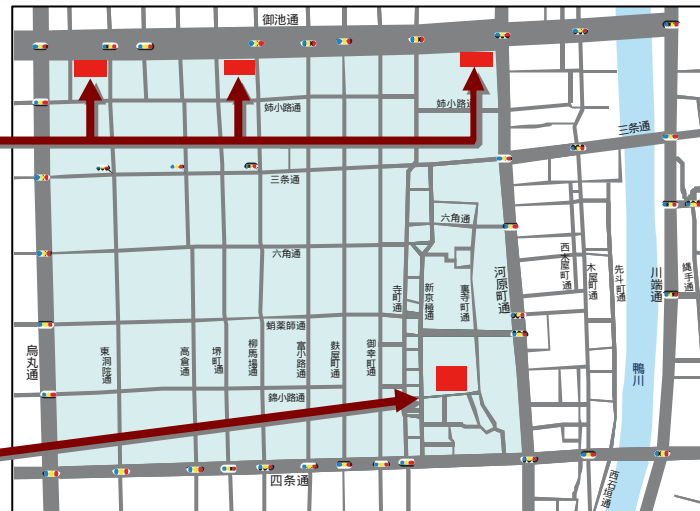
2 平成20年度の施策

御池通（歩道上 3カ所）

- ・場 所：御池通南側歩道上
- ・実験期間：12月26日(金)午前8時
～3月31日(火)
- ・駐輪台数：83台
- ・料 金：駐輪後1時間まで無料
その後2時間まで100円
以降1時間毎に50円加算

新京極公園

- ・場 所：新京極公園内
- ・実験期間：12月22日(月)午前8時
～3月8日(日)
- ・駐輪台数：88台
- ・料 金：駐輪後1時間まで無料
その後2時間まで100円
以降1時間毎に50円加算



まちかど駐輪場に関する報道
(H20.12.22京都新聞)

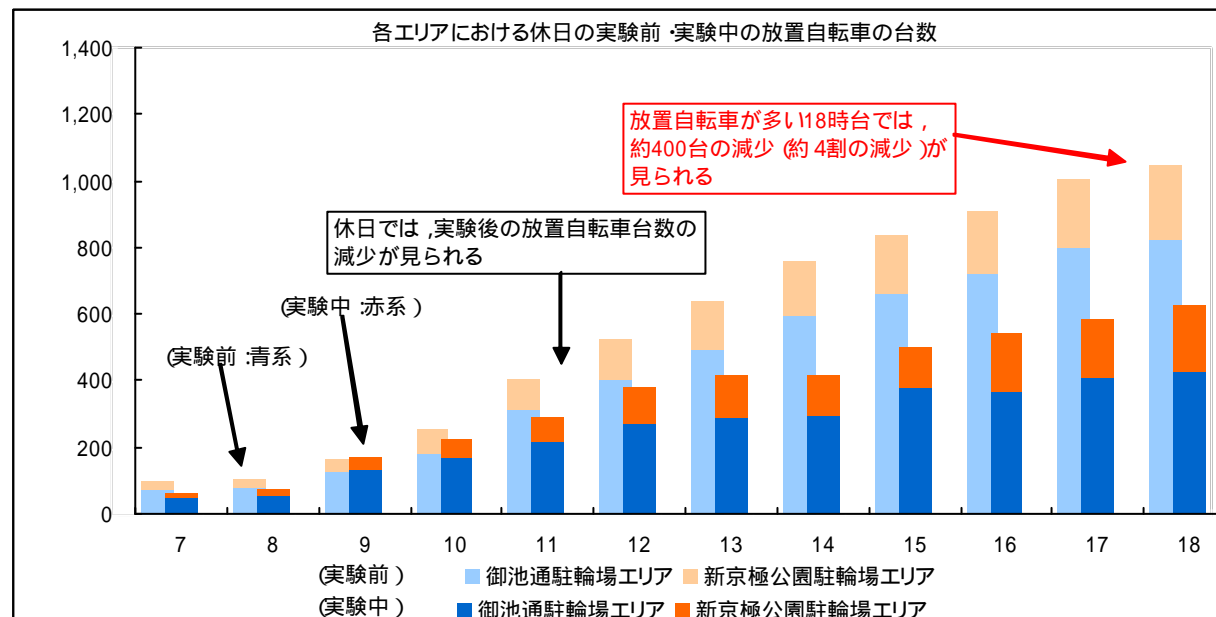
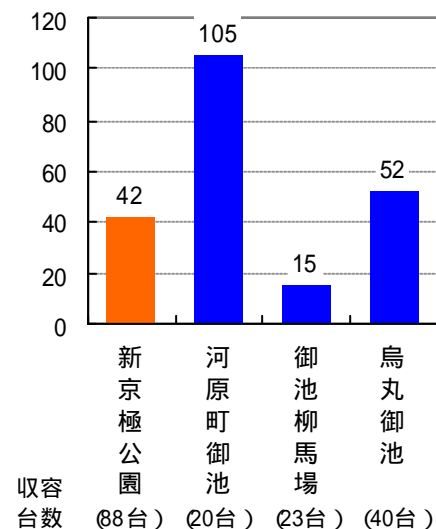
2 平成20年度の施策

実施状況

まちかど駐輪場の駐輪台数及び放置自転車台数

まちかど駐輪場では、平均214台/日の利用があり、駐輪場の設定期間中、放置自転車台数が減少している。

平均駐輪台数(台/日) (~3/8時点)

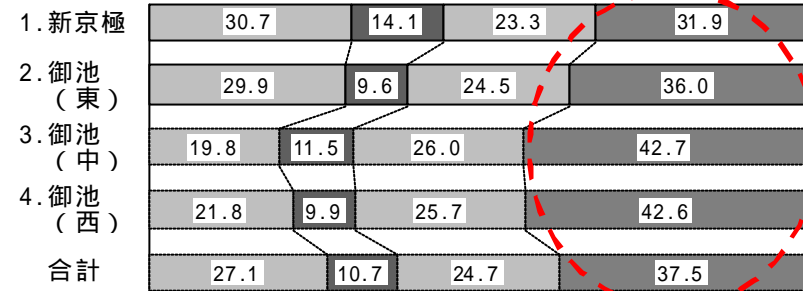


2 平成20年度の施策

まちかど駐輪場設置前の駐輪実態 (まちかど駐輪場アンケート調査より)

まちかど駐輪場が設置される前は、約3~4割が「ほぼ毎回、路上に駐めていた」と回答している。

- ほぼ毎回、駐輪場に駐めていた
- 路上よりも駐輪場に駐めることが多かった
- 駐輪場よりも路上に駐めることが多かった
- ほぼ毎回、路上に駐めていた

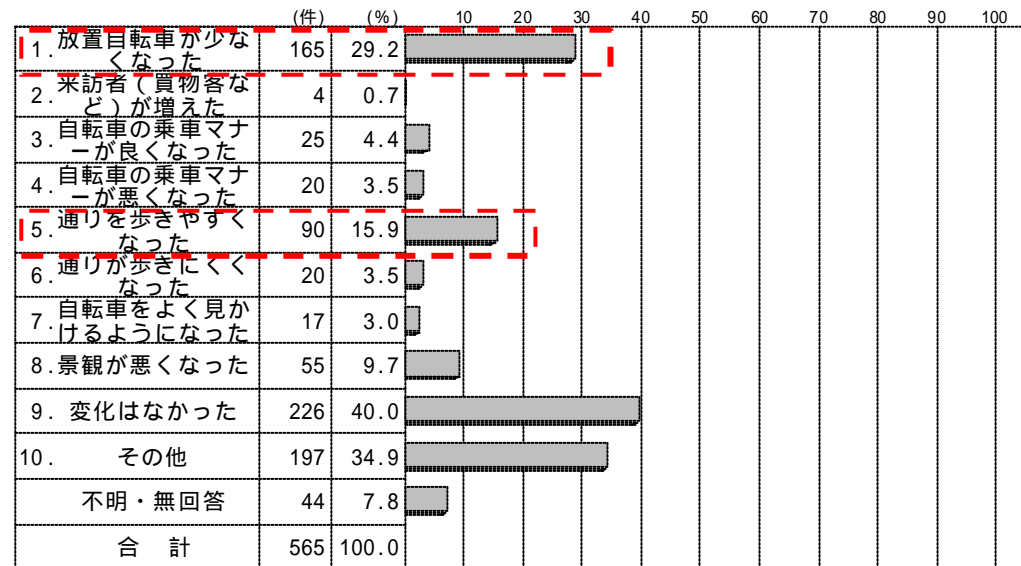


まちかど駐輪場の設置効果 (地元関係者に対するアンケート調査より)

まちかど駐輪場の周辺地域から、「放置自転車減少」が約3割、「歩きやすくなった」が約2割という評価を受けている。

今後の展開

実験結果を精査し、周辺道路や地元住民の皆様、商店街の皆様等の意見を踏まえ、今後の駐輪場のあり方について検討していく



2 平成20年度の施策

(2) マナー向上に向けた取組（駐輪場・走行規制マップ）

施策の内容

- 自転車の利用者に対して、駐輪場の場所と概要、自転車の走行規制の概要、自転車利用に関するルール・マナーを掲載したチラシを約20,000部作成した。
- 近隣商店（商店街やコンビニエンスストア等）や近隣施設（京都文化博物館、ウイングス京都等）への配布、駐輪場アンケート調査時の配布、夜間啓発活動による配布を行った。

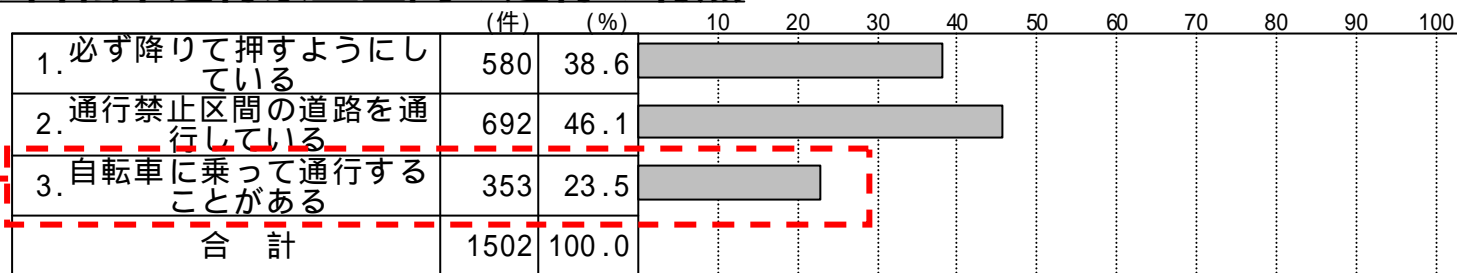
実施状況

一般駐輪場・路上駐輪車両アンケート調査では、「(通行禁止区間の道路を)自転車に乗って通行することがある」との回答が約2割で、そのうち約4割は「(規制を)知らなかった」と回答している。

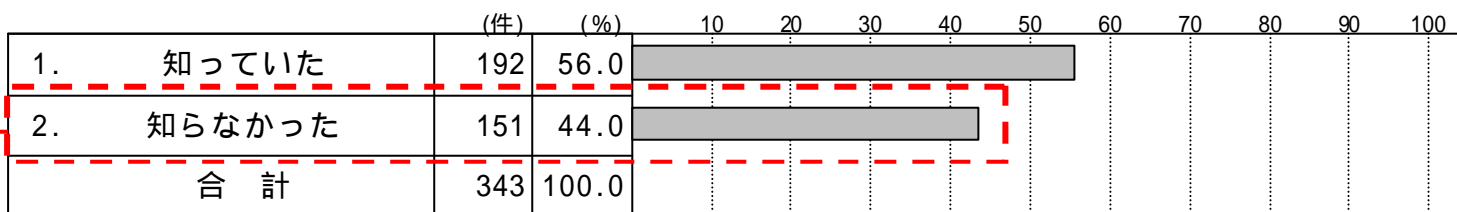
走行規制マップで通行禁止区間を確認してもらった後に尋ねた「今後の意向」では、9割弱が「通行禁止区間・時間帯では自転車を押そうと思う」、通行禁止区間以外の道路を通行しようと思う」という回答している。

2 平成20年度の施策

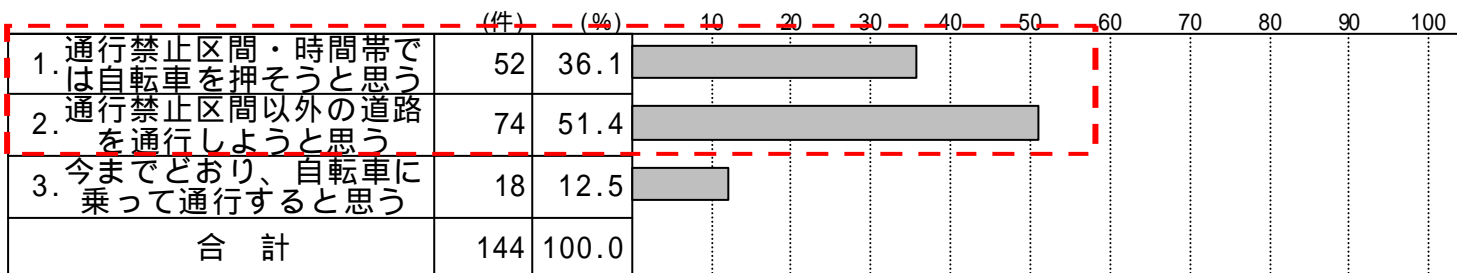
普段の自転車通行禁止区間の通行の有無



通行禁止区間の認知度 (前問で「自転車に乗って通行することがある」と回答した方のみ)



今後の意向 (前問で「知らなかった」と回答した方のみ)



2 平成20年度の施策

2.3 歩いて楽しむ賑わいの創出に関する施策

(1) 情報誌「^{まち}京な^{ぶっく}か歩く」の発行

施策の内容

- 歩いて楽しむ賑わいの創出に関する施策の一環として、公共交通の利用促進と歴史的都心地区の賑わい創出を目的とした施策を実施した。
- 「^{まち}京な」の魅力を再発見する「通り」の紹介など歩いて楽しむ情報や、利用者の視点に立った地下鉄・市バス等の公共交通便利情報を掲載した情報誌「^{まち}京な^{ぶっく}か歩く」を作成、配布した。

実施期間・箇所

平成21年2月25日から配布開始。

市営地下鉄全31駅を含む鉄道駅、市役所、区役所、市の各施設、紙面紹介店舗等に設置した。またシンポジウムやイベント等においても配布した。

2 平成20年度の施策



まち ぶっく
情報誌 京なか歩くの表紙



市民の皆様や観光客の皆様には、歩いてこそ体感できる「通り」のお店情報をテーマ別に紹介し、「なか」の歩いて楽しい魅力を発信



多くの皆様が「なか」を携帯し、地下鉄、市バスなどの公共交通をより快適に利用していただくため、「なか」アクセスの新たなヒントとなる公共交通の便利情報を掲載

2 平成20年度の施策

実施状況

発行日(2月25日)以降問い合わせが殺到するとともに、市役所案内所、区役所・支所、地下鉄駅等に当初配架した冊子がなくなり、現在も追加配架を繰り返し返している。

発行した5万部を、3月6日時点で既に配り終え、現在、3万部を増刷し対応しているところである。

問い合わせのあった市民の皆様からは、「楽しそうで、手に取ってみたいくなる。」、内容が面白い。」、公共交通情報が便利で分かりやすい。」と好評を得ている。

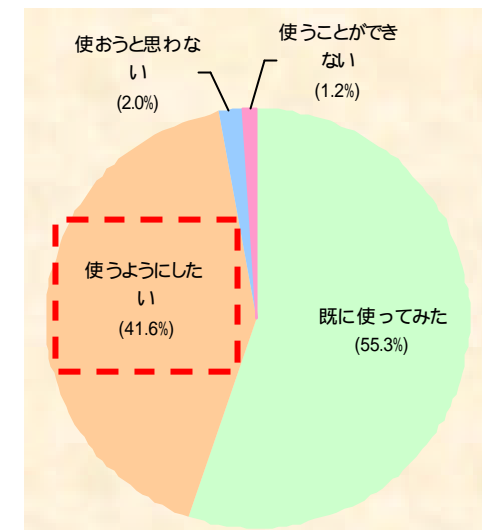


「京(まち)なか歩く(ぶっく)」に関する報道
(H21.2.25京都新聞)

2 平成20年度の施策

「^{まち}京なか^{ぶっく}」をみた後の公共交通利用意向

「^{まち}京なか^{ぶっく}」をみて、約4割の方が「公共交通を使うようにしたい」と回答した。



今後の展開

「^{まち}京なか^{ぶっく}」の他、歩いて楽しい賑わいの創出に向け、まちの魅力をいかに発信していくか、地元商店街の皆様と共に検討していく